

野菜の生育状況及び価格見通し（令和8年10月）について

○ 令和8年10月は、はくさい、レタス等の価格は平年を上回って推移することが見込まれる一方で、ばれいしょ、たまねぎの価格は平年を下回って推移する見込み。

東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格の見通しについて、主産地等からの聞き取りを行った結果を公表します。

1. 背景

近年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、産地の出荷判断と消費者の購買行動の最適化を促し、野菜の供給及び価格の安定に寄与することを目的として、平成23年より、野菜の生育状況や価格の見通しについて、主産地、卸売会社等からの聞き取りを行っております。

今回、聞き取り結果に基づく、令和8年10月の野菜の生育状況及び価格の見通しを次のとおり公表します。

なお、2025年基準消費者物価指数によると、令和8年8月の総合の指数は102.2、食料の指数も103.8と上昇傾向にありますが、本プレスリリースについては、主産地、卸売会社等からの聞き取りをもとに過去5か年平均を基準として作成しておりますこと、ご注意ください。

「野菜を食べようプロジェクト」

農林水産省では、野菜の消費拡大を推進するため、「野菜を食べようプロジェクト」を実施しています。

野菜はビタミンやミネラル、食物繊維等が豊富に含まれており、毎日を健康で元気に過ごすために欠かせない食材です。

皆さんもご自宅等で野菜をたっぷり使った料理をお楽しみください。

詳細は次のリンクをご覧ください。

[「野菜を食べようプロジェクト」](#)



いももち



丸ごとたまねぎの肉詰めスープ煮

(外部リンク)

出典：（独）農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集

また、「令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ」、「cookpad 農林水産省のキッチン」、「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」でも野菜を使ったレシピを紹介していますので、是非ご覧ください。

令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ

cookpad 農林水産省のキッチン (外部リンク)

(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集(外部リンク)

2. 主要な野菜の生育、出荷及び価格の見通し

品目	主産地 () 書きは 令和7年10月の 入荷シェア	今後の生育及び入荷見通し	10月の価格見通し (平年 (直近5か年平均) 比)
だいこん	青森(36%) 北海道(30%) 千葉(21%)	北海道産・青森県産中心の出荷。10月後半から千葉県産の出荷が増加する。北海道産・青森県産の生育は順調に推移。千葉県産は長雨と日照不足により定植作業や生育の遅れが発生しており、全体として、10月前半の出荷数量・価格は平年並みで推移し、10月後半の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	<10月前半> 平年並みで推移 <10月後半> やや平年を上回って推移
にんじん	北海道(95%)	主産地の生育は概ね順調であり、10月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
はくさい	長野(87%) 茨城(7%)	長野県産は9月の長雨と日照不足により生育不良や歩留まりの低下がみられ、10月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。	平年を上回って推移
キャベツ	群馬(69%) 岩手(12%) 千葉(7%)	群馬県産は9月以降、日照不足と低温により生育の遅れがみられ、やや小玉傾向にある。岩手県産の生育は概ね順調に推移。後段産地の千葉県産は9月の長雨により生育不良や生育の遅れがみられる。全体として、10月前半の出荷数量・価格は平年並みで推移し、10月後半の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	<10月前半> 平年並みで推移 <10月後半> やや平年を上回って推移

ほうれんそう	群馬(61%) 茨城(17%) 栃木(14%)	主産地において、長雨と日照不足により播種や生育の遅れがみられ、10月の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
ねぎ	秋田(23%) 北海道(20%) 青森(19%) 茨城(6%)	主産地の生育は概ね順調であり、10月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
ブロッコリー	北海道(59%) 長野(17%) 埼玉(7%)	北海道産・長野県産中心の出荷。主産地では長雨により生育が遅れており、10月の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
レタス	茨城(57%) 長野(27%) 群馬(12%)	長野県産中心の出荷から茨城県産中心の出荷へと切り替わる。長野県産・群馬県産は9月の長雨と日照不足により生育不良や歩留まりの低下がみられ、後段産地の茨城県産も9月の日照不足により生育不良や生育の遅れがみられる。全体として、10月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。	平年を上回って推移
きゅうり	群馬(30%) 埼玉(21%) 福島(12%) 茨城(8%)	主産地において、9月の日照不足と低温により果実肥大の遅れが発生しており、また、出荷終盤の産地では樹勢の低下から切り上がりが早まることが懸念される。全体として、10月の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
なす	高知(32%) 群馬(26%) 栃木(14%) 茨城(13%)	関東産中心の出荷から高知県産中心の出荷へと切り替わる。関東産は9月の長雨と日照不足により、樹勢の低下がみられ、着果数の減少につながっている。高知県産も日照不足により生育の遅れが懸念される。全体として、10月の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。。	やや平年を上回って推移

トマト	千葉(18%) 福島(15%) 北海道(14%) 熊本(9%)	千葉県産中心の出荷。10月後半から熊本県産の出荷が徐々に増加する。 東北産・関東産は9月の日照不足により着色の遅れがみられ、着果数の減少も懸念される。熊本県産の生育は概ね順調である。 全体として、10月の出荷数量は平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。	やや平年を上回って推移
ピーマン	茨城(49%) 岩手(27%) 青森(6%)	主産地において、9月の長雨と日照不足により着果数の減少や果実肥大の遅れが発生している。10月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。	平年を上回って推移
ばれいしょ	北海道(99%)	北海道産中心の出荷。主産地の生育は概ね順調であり、大玉傾向。10月の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。	平年を下回って推移
さといも	埼玉(70%) 千葉(14%)	埼玉県産・千葉県産中心の出荷。主産地の生育は概ね順調であり、長雨の影響で収穫作業の遅れが見られるが、10月の出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
たまねぎ	北海道(90%)	北海道産中心の出荷。主産地の生育は概ね順調であり、大玉傾向。10月の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。	平年を下回って推移

注：「平年並み」とは、平年（過去5か年平均）との比率が概ね90%以上、110%以下であることを示しています。

<添付資料>

[東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比\(PDF：92KB\)](#)

これまでの公表資料も次のリンクで公開しております。
[需給、ガイドライン、入荷及び価格の見通し等に関する情報](#)

【お問合せ先】
農産局園芸作物課
担当者：価格班
代表：03-3502-8111（内線4822）
ダイヤルイン：03-3502-5961